

温かいご支援ありがとうございます

オペレッタ「こうもり」公演に協賛いただいた方々

株式会社立山興産 おおやま病院 高尾建設株式会社 サンエー建工株式会社  
 大沢内科クリニック (有)クリス音楽院 ビジネスホテル円泉 高松少年少女合唱団  
 安念 邦夫 浅岡 光代 黒川 雅皓 黒川 真理 小関 武宏 小関 香苗 木谷 晋也  
 柴 幸雄 柴 睦子 里見 治美 島 美恵子 鈴木 まり子 高松 奈津 竹平 栄太郎  
 中尾 一彦 林 眞由美 平野 恵美子 南出 秀昭 南出 ゆかり

維持会員

大沢内科クリニック 可西舞踊研究所 株式会社内山精工 山元醸造株式会社  
 米原商事株式会社 リードケミカル株式会社

安念 邦夫 安念 ゆたか 五十嵐 大響 井上 五三男 大楠 匡子 大成 勝代 重松 秀子  
 久郷 秀男 栗谷 恭三 栗谷 良野 黒川 雅皓 里見 治美 島 美恵子 島田 修  
 島田 典故 高松 眞 榎野 寿栄 中島 恭一 林 攻 林 美和子 平井 岑生  
 舟本 幸人 細川 キヨミ 松本 喜二 村井 俊夫 本木 英子 山本 郁夫 横野 昭  
 和田 朝子

会友

五十嵐 晃子 石野 雅子 桐島 秀郎 桐島 有紀子 栗谷 修輔 黒田 義昭 小泉 貴義  
 近藤 雪子 酒井 淳子 澤山 圭子 正満 志貴子 城川 久美子 杉原 芳枝 瀬川 美映子  
 高橋 睦美 豊谷 節子 中野 多賀子 中野 裕 幅田 信義 林 悦子 堀田 多聞  
 前田 玲子 養口 睦子 桃野 瑞恵 山辺 美嗣 山本 壽美 吉田 康子 (終身)

我妻 眞美 浅岡 弘彦 井加田 まり 井上 学 内山 節子 大野 久芳 岡田 京子  
 奥野 詠子 角 光則 上岸 泰子 川崎 昌博 北島 眞知子 楠 早苗 窪田 早紀  
 栗原 峻希 小泉 量裕 小泉 邦子 米屋 万美子 清田 尚登 高尾 真澄 武田 慎一  
 田中 之子 田中 礼子 谷井 よう子 谷井 美夫 土井 治美 長江 登美子 中川 忠昭  
 永森 直人 畠 啓子 林 紀代美 林 こと子 稗苗 清吉 平田 義人 藤井 裕久  
 松井 恵 宮本 光明 村上 育子 山田 晴子 四方 正治 横山 栄 米原 蕃  
 渡辺 守人

次回公演予定

[第8回] ニューイヤー・オペラ・ガラコンサート

2019年1月26日(土) 18:00 富山県教育文化会館

富山県オペラ協会 ご入会のお誘い

富山県オペラ協会は、オペラの研究と公演活動に情熱をもって参加して下さる方や、オペラを愛し、温かいご支援をいただけるような方々を広く募集しています。

維持会員

オペラ協会の活動に温かいご支援をいただける法人または個人。総会の議決権を有します。

【年会費】  
 法人会員 1口/3万円  
 個人会員 1口/1万円

会友

オペラ公演活動を応援して下さる個人。当会より演奏会のご案内を送付いたします。

会友(終身) 会費1口/5千円  
 会友(1年毎) 会費1口/1千円

芸術会員

声楽家、演奏家、舞台関係者で、当会の公演に直接携わる方、または将来を期待される方。審査があります。総会での議決権を有します。

【年会費】1万円

富山県オペラ協会合唱団員

【練習場所】  
 富山市民芸術創造センター他  
 【練習日】  
 日曜日 午前(月2回程度)  
 【年会費】1万円

お申込み・お問い合わせ

富山県オペラ協会事務局

〒939-1315 富山県砺波市太田 1346 アーベントホール内

TEL / FAX 076-333-3497 E-mail : toyamaopera2012@gmail.com

編集・発行 とやま舞台芸術祭実行委員会事務局

〒930-0096 富山市舟橋北町7-1 富山県教育文化会館 (一社)富山県芸術文化協会内 TEL.076-441-8635(内線123) FAX.076-442-4635  
 E-mail : info@pat.or.jp URL : http://www.tiatf.or.jp

とやま舞台芸術祭 2018 | 総合プロデューサー：舟本幸人 |

富山県オペラ協会 第5回オペラ公演

安念千重子プロデュース



Johann Strauss II

DIE FLEDERMAUS

〈全3幕/日本語上演〉

オペレッタ

J.シュトラウスII 作曲

こうもり



2018.12.2 [日] 13:15 開場 富山県芸術文化ホール [オーバード・ホール]  
 14:00 開演

主催 | とやま舞台芸術祭実行委員会

共催 | 一般社団法人富山県芸術文化協会、富山県、富山市、公益財団法人富山県文化振興財団、北日本新聞社

後援 | 公益財団法人富山市民文化事業団、富山県書道連盟、富山県邦楽協会、富山県オペラ協会、富山県オーケストラ連盟、富山県日本舞踊協会、富山県洋舞協会、富山県舞台技術研究会、富山県歌人連盟、日本北陸書道院、富山新聞社、北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、一般社団法人富山県ケーブルテレビ協議会、とやまソフトセンター

今宵のすべてはシャンパンのせい！

富山県オペラ協会 第5回オペラ公演 安念千重子プロデュース  
《全3幕/日本語上演》

# オペレッタ こうもり

J.シュトラウスⅡ 作曲

## DIE FLEDERMAUS

Johann Strauss II

プロデューサー | 安念 千重子

指揮 | 坂本 和彦 演出 | 中村 敬一

演奏 | 富山シティフィルハーモニー管弦楽団

合唱 | 富山県オペラ協会合唱団

### CAST キャスト

アイゼンシュタイン	小栗 純一 (客演)	プリント	森清 篤実
ロザリンデ	安田 裕美	フランク	吉森 祐也
ファルケ	渡辺 洋輔	イーダ	森山 久恵
アデーレ	渡邊 万貴	フロッシュ	谷井 美夫 (劇団文芸座)
アルフレード	伊東 康孝	バレエ	可西舞踊研究所
オルロフスキー	森川 有紀	給仕役	高田 均 護摩堂一鷹 吉井 理久 常田 宗孝

### 《ゲスト出演》

金川 睦美 | ソプラノ 渋谷 優花 | ヴァイオリン (客演)  
和田朝子舞踊研究所 | バレエ  
平井 香織 | ソプラノ 栗原 峻希 | バリトン

### STAFF スタッフ

舞台美術プラン	久郷 秀男 (劇団文芸座)	《音楽スタッフ》	
照明プラン	渡部 佳子	副指揮・合唱指揮	川崎 嘉昭
舞台監督	大澤 裕 (ザ・スタッフ)	コレペティトア	丸山 美由紀
演出助手	荒木 晶子・西浦 由佳里	稽古ピアノ指導	清水 香里
舞台監督助手	手塚 優子・二葉 康夫	稽古ピアノ	内田 陽子 佐々木 ゆき子 清水 慧衣 中川 佳美 森田 夏海
大道具製作	久郷 秀男 / エル・プラント	衣装スタッフ協力	馬場 三紀 広田 郁世
大道具操作	エル・プラント	ヘアメイク 助手	長谷 河恵子 後坊 寿恵
照明操作	セットアップ	メイク協力	富山県理容美容専門学校
衣裳 (ソリスト)	東京衣裳大阪支社	《制作スタッフ》	
ヘアメイク	吉池 アサノ	串田 淑子 伊東 康孝 久田 潤 丸山 美由紀	
小道具	ザ・スタッフ	護摩堂 若 金川 睦美 碓氷 智子 馬場 嘉子	
家具提供	浅岡 節夫	印刷物デザイン	納富 司デザイン事務所
稽古場協力	城東音楽院ホール		

## 祝 辞

富山県知事 石井 隆一



このたび、とやま舞台芸術祭2018 オペレッタ「こうもり」が開催されますことを心からお祝い申し上げます。

「とやま舞台芸術祭」では、これまで、優れた舞台芸術の創造と交流を目指して、県内芸術文化団体等による数多くの素晴らしい舞台が繰り広げられてきました。とりわけ、今年は、大伴家持の生誕から1300年を迎える節目の年であることから、その記念事業の一環として、8月に越中万葉創作舞踊「万葉高志の国」が開催され、ご来場の方々に大きな感動を与えたところです。

本日の公演では、J.シュトラウス2世が書き下ろした、世界でも有名なオペレッタの一つであり、親しみやすいメロディーと、ユーモラスに描かれた人間模様が時代を超えて愛されている「こうもり」を日本語で上演されると伺っております。

オペレッタは、音楽に演劇や絵画の要素も加わり、歌唱、演奏、舞台美術、照明などが一体となって、一つの舞台を創りあげる総合芸術と言われています。富山県オペラ協会会長である安念千重子先生のプロデュースにより上演される本公演は、必ずやご来場の皆様を魅了し、深い感動を呼ぶものと確信しています。

終わりに、開催に尽力されました一般社団法人富山県芸術文化協会をはじめ関係の皆様へ深く敬意を表しますとともに、本公演のご盛況と皆様の今後ますますのご健勝、ご活躍、ご多幸をお祈り申し上げます。

## ごあいさつ

(一社) 富山県芸術文化協会会長

加藤 淳



「とやま舞台芸術祭2018」として、富山県オペラ協会の第5回目オペラ公演「こうもり」を上演できますことを心より嬉しく思います。

プロデューサーの安念千重子先生には、第1回の「フィガロの結婚」を皮切りに、「ヘンゼルとグレーテル」「魔笛」「笠地蔵」と、地元のキャスト・スタッフの力を総動員した意欲的な舞台を次々とプロデュースして頂きました。

今回の公演では、安念先生のプロデュースと、指揮の坂本和彦先生、演出の中村敬一先生のリードのもと、オペラ協会とゲスト出演の魅力あふれる歌手や音楽家の方々、実力派の富山シティフィルハーモニー管弦楽団、フロッシュ役の谷井美夫氏 (劇団文芸座)、バレエで舞台に彩りを加える富山県洋舞協会と多くの才能が集結し、どのような「喜歌劇 (オペレッタ)」を魅せて下さるか、心より楽しみにしております。

「こうもり」の作曲者J.シュトラウスⅡ世は、同姓同名のシュトラウスの長男として1825年にウィーンで生まれました。父は「アンネン・ポルカ」「ラデツキー行進曲」などの名曲に加え約150曲のワルツを作曲し、「ワルツの父」と呼ばれています。子のシュトラウスⅡ世は「美しく青きドナウ」をはじめ400余のワルツと舞曲類を作曲し、「ワルツ王」「ウィーン・オペレッタの王」と称され、世界中で親しまれています。彼が作曲した16の喜歌劇の中でも空前の成功を収めたのが、今回の「こうもり」です。ワルツやポルカを主軸にした軽快な旋律に、期待で胸が躍ります。

結びに、本公演のためにご尽力頂きました関係の皆様へ心からお礼を申し上げます。

## ごあいさつ

富山県オペラ協会名誉会長  
浅岡 節夫



とやま舞台芸術祭 2018 富山県オペラ協会第5回オペラ公演を開催出来ますことは、ご来場の皆様、ご支援下さる関係各位のお陰と厚く感謝申し上げます。

さて、今回取り上げます「こうもり」はオペレッタの最高傑作と言われウィーンでは大晦日の催物として毎年開催されていますが、日本国内でもオペレッタの代名詞的な存在として、各地で盛んに行われています。有名な序曲から（私も小学生のころから丸暗記してしまった位）始まり、物語は登場人物が入れ替わり立ち替わりの複雑さで、予め「あらすじ」の把握が必要であろうかと思えます。

オペラでも歌舞伎でも通になるのは大変です。専門家でも前もって有名なアリアやスコアを通して予習しておく位ですから。何しろ愉快的な劇なのでゆっくり楽しみましょう。その昔、二期会の公演で見た「こうもり」では、当時人気だったコント 55 号の坂上二郎さんがフロッシュ役で登場しましたが、今回は富山の劇団文芸座から谷井美夫氏が出演されるのが見ものです。又評判の新国立劇場オペラの「こうもり」では多くの外国人に交じってアデーレ役に橋本明希さん、イーダ役に平井香織さんが登場、両者共富山県出身、わが門下とあって殊更いい気持ちで拍手を送りました。今回挿入されるガラ・パフォーマンスに平井さんが出演いたします。終わりになり恐縮ですが指揮の坂本和彦氏にはワインとワルツのウィーンの香り高き音楽を、演出の中村敬一氏には若手のご指導にご苦労をかけたが、機智縦横の洒落っ気で、華やかな舞台を期待しております。

## ごあいさつ

富山県オペラ協会会長  
安念 千重子



皆様 本日はご来場いただき誠に有難うございます。当協会は 2010 年に富山県芸術文化協会をはじめとする関係各界からのお力添えにより発足致しました。翌年、年始めのニューイヤー・オペラ・ガラコンサートを皮切りに「フィガロの結婚」「ヘンゼルとグレーテル」「魔笛」「笠地蔵」と公演を重ね、本日、創立以来の夢でありましたオペレッタ「こうもり」に挑戦いたします。6 月より指揮・坂本和彦、演出・中村敬一氏による稽古開始。はじめてのオペレッタへの取り組みは、軽快で誰もが楽しめる内容とは裏腹に、一筋縄では到達出来ぬ難しさに直面、試行錯誤の連続の半年を経て本日の幕開けとなりました。

この公演に携わる一同は、当協会の遥かな夢、芸術文化の地産地消を目指し、困難な社会現状にありながらも、情熱を傾け研鑽を続けております。指揮、演出の両先生による毎回の稽古で、演ずる事・聴衆に伝える事の意味など、その都度、ワンランク上の適切なご指導を頂けているのは、関係者にとって貴重な体験であり、今後の私達の大切な財産です。

この秋ようやくお目見えした富山県産のブランド米「富 富 富」も 10 年以上に亘る地道な研究、実験を経ての結果です。芸術文化も中央から手軽で高価、その場限りの花を愛でることから脱却し、この地で育つ、育てる自分たちの花を目指し、情熱を失う事なく未来を信じ切って今を生きねばならないと考えます。今後も皆様の温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## 公演に寄せて

指揮 坂本 和彦



富山県オペラ協会初のオペレッタ「こうもり」…声をかけていただいてから実際の稽古に入る日まで、そして当協会の皆様方に再びお会い出来ますことを本当に楽しみにしていました。オペラも難しい要素が沢山ありますが、オペレッタは歌はもとより、演技力が特に必要とされる総合芸術だと思えます。

ご承知のように、ヨーロッパではオペレッタを中心に上演する劇場が、オペラハウスとは別に存在し、世界中からお客様が集まります。数多くあるオペレッタの作品を、個々の劇場によってアレンジして、時には本来台本にないセリフを、その土地で今話題になっているネタや、政治的ネタを多少皮肉ったセリフで面白可笑しく挿入し、笑いを誘うことがしばしばあります。ある意味では歌い手さんのジョークのセンスにもよりますが、劇場にいらして頂いたお客様を、オペラとは違った楽しみ方をして頂いてお帰りいただく…。

当協会立ち上げ公演「フィガロの結婚」から、「ヘンゼルとグレーテル」、「魔笛」とご一緒させて頂きましたが、今回もこのオペレッタ「こうもり」をご覧いただき、短い時間ですが、楽しく…笑いあり…、幸せなひと時を感じ、お過ごしいただきましたら何よりなことです。

また初回のオペラから、オケピットでご一緒して頂いています富山シティフィルハーモニー管弦楽団の皆様方には、今回も大変お世話になり心から感謝しています。

それでは、有名な序曲から始まるオペレッタ「こうもり」…今日はこの場で会場の皆様と一緒に作り上げていきましょう！

## 舞踏会の夢

演出 中村 敬一



「踊るワルツ」からやがて演奏会用作品としての「聴くワルツ」の創作がはじまる。「ワルツの父」の息子、ヨハン・シュトラウス 2 世は、「美しき青きドナウ」に代表されるこの「聴くワルツ」で、「ワルツ王」の名をほしいままにする。

彼は、1856 年から約 10 年間、ロシアのハバロフスクの郊外の「音楽駅」でコンサートと舞踏会の指揮を依頼され、夏の間、約半年、毎夜 19 時から終電の 22 時頃まで続く。（「こうもり」の第 2 幕のロシア貴族の舞踏会そのものだ）

オペラ歌手のイエッティを伴侶に迎えたヨハン・シュトラウス 2 世は妻の勧めと、パリで大成功を取めたジャック・オッフエンバックの影響で、オペラの作曲を始める。「演じるワルツ」の誕生だ。「こうもり」の劇中、アデーレが扮する女優の名前は、ハバロフスク時代の実らぬ恋の相手、オルガ・スミルニツカヤからとられているのは興味深い。

富山オペラ協会の公演では、この大人のドラマを優雅にそして愉快地に演じきり、歌いきって、観客の皆さんを一夜の夢に踊らせられるか、わくわくしながら準備をすすめている。

第1幕 | 19世紀のウィーン。  
裕福な資産家アイゼンシュタインの屋敷

屋敷の外からテノール歌手アルフレードが歌うセレナーデが聞こえてくる。彼はアイゼンシュタインの妻ロザリンデの昔の恋人で、アイゼンシュタインが役人に暴力を振った罪で、5日間の禁固刑になることを知り、夫の留守中にロザリンデと繕いを戻そうとしている。自分を弁護できなかった弁護士プリントを激しくなじるアイゼンシュタイン。

そこへアイゼンシュタインの友人ファルケがやって来て『刑務所に入る前に今夜はパーティで思い切り楽しもう、美女も勢揃いさ』と言葉巧みに誘う。実はファルケは以前アイゼンシュタインのせいで大勢の人前で恥をかかされ、以来「こうもり博士」とあだ名がついてしまったのを根に持ち、復讐を企んでいるのであった。

ファルケはアイゼンシュタインだけではなく、同時に密かに彼の妻ロザリンデ、小間使いのアデーレにもパーティの招待状を渡していた。一夜のアバンチュールを想像してウキウキのアイゼンシュタイン、パーティに行けると大喜びのアデーレ。夫の様子に困惑するロザリンデ。

夫とアデーレが去り、部屋に一人となったロザリンデ。今がチャンスと部屋に上がり込んだアルフレードとグラスを交わしながら、昔を思い出してしばしの楽しい時間を過ごす二人であったが、アイゼンシュタインを迎えに来た刑務所長フランクに、アイゼンシュタインと間違われて連行されてしまう。

第2幕 | ロシアの若い貴族オルロフスキー公爵邸

広間では華やかなパーティも宴たけなわ。パーティの主宰者である公爵は「僕はお客を呼ぶのが大好きで、みんなが楽しんでくれるのが一番嬉しい。」と歌う。

ドゥ・ルナール侯爵と名乗ったアイゼンシュタインは、広間にいる小間使いのアデーレを見つけて驚く。変装しているアデーレは、自分は女優のオルガで人違いだと『おかしな侯爵さま』と歌い、彼を笑いものにする。

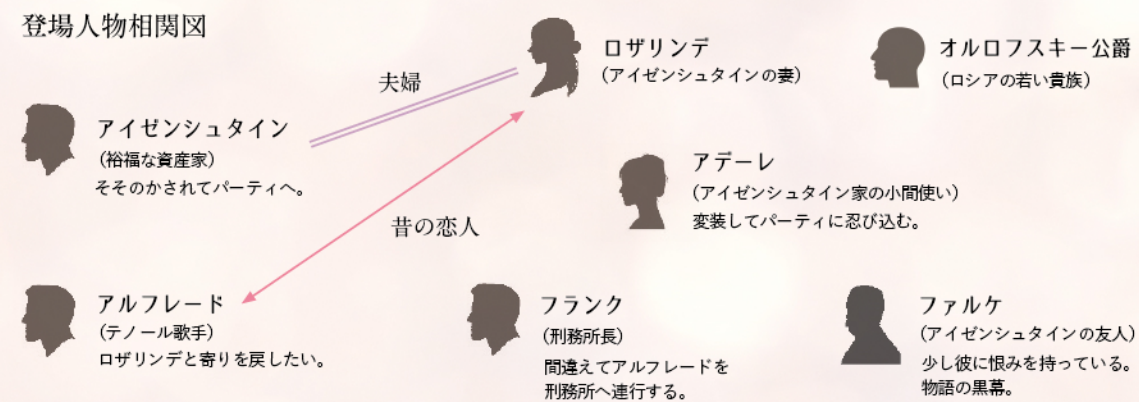
仮面をつけてハンガリーの伯爵夫人を装ったロザリンデが登場すると、自分の妻だと知らずにすっかり彼女に魅せられてしまうアイゼンシュタイン。自慢の懐中時計を餌に彼女に言い寄るが、逆に時計はまんまと彼女の手に渡ってしまう。アイゼンシュタインと客たちは伯爵夫人の正体を知りたがるが、彼女は故郷の歌『チャルダッシュ』を披露してパーティは最高潮へと達するのだった。

やがて鐘の音が朝を知らせるとパーティはお開きとなり、アイゼンシュタインは刑務所へと向かう。

第3幕 | 刑務所長フランクの部屋

刑務所に出勤したアイゼンシュタインは、自分の名前がアルフレードが収監されていることに驚く。そこへアルフレードを逃がそうとやって来たロザリンデが現れたので、彼女が浮気をしているものと思込み、激しく責め立てる。しかし、昨夜のパーティで彼から取り上げた時計を見せると一気に形勢は逆転する。ファルケとオルロフスキーたちが入場し、この一連の出来事がファルケが仕掛けた茶番劇、名付けて「こうもりの復讐」だと判明する。『すべてはシャンパンのせいさ』と一同が陽気に歌う内に幕となる。

登場人物関係図



【指揮】 坂本 和彦

東京音楽大学指揮科卒業。三石精一氏に師事。チューリッヒ音楽院へ留学。F. ライトナー、F. エーゲルマン両氏に師事。チューリッヒ歌劇場にて研究員から副指揮を4年半。1986年『三人の女達の物語』でデビュー。以後各団体に活躍。2009年東京芸術劇場で『ひかりのゆりかご』の指揮・音楽監督を務める。また、同年日本フィルにてヴェルディ『レクイエム』を指揮し、絶賛を得る。(新日本フィル、日本フィル、東京フィル、東京交響楽団等を指揮。) 2009年11月12日、天皇陛下御即位20年、ご成婚50年の慶祝行事にて奉祝曲を指揮。2011年10月に富山県オペラ協会の『フィガロの結婚』を指揮。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部講師及び指揮者、東京音楽大学及び大学院、同付属高校講師、日本オペラ振興会会員指揮者、日本指揮者協会幹事及び事務局長、岐阜県サラマンカホール音楽監督、公益法人としま未来文化財団音楽監督。



【演出】 中村 敬一

武蔵野音楽大学同大学院で声楽を専攻、後、舞台監督集団「ザ・スタッフ」に所属してオペラスタッフとして活躍。以後、鈴木敬介、栗山昌良、三谷礼二、西澤敬一各氏のもと演出の研鑽を積む。1989年より文化庁派遣在外研修員として、ウィーン国立歌劇場にてオペラ演出を研修。帰国後、リメイク版『フィガロの結婚』で高い評価を得、二期会公演『三部作』東京室内歌劇場公演『ヒロシマのオルフェ』、日生劇場公演『笠地蔵・北風と太陽』で演出力が絶賛され、1995年、第23回ジローオペラ新人賞を受賞。2000年3月には新国立劇場デビューとなった『沈黙』が高く評価され、2001年ザ・カレッジ・オペラハウス公演『ヒロシマのオルフェ』では、大阪舞台芸術奨励賞を受賞。オペラの台本も手掛け、松井和彦作曲『笠地蔵』『走れメロス』、新倉健作曲『ボラーノの広場』『窓(ウインドウズ)』等がある。国立音楽大学客員教授、大阪音楽大学客員教授、大阪教育大学講師、沖縄県立芸術大学講師。

Cast Profile  
キャストプロフィール



【アイゼンシュタイン】 小栗 純一

東京藝術大学声楽科卒業。劇団四季研修所(8期)を経て、現在二期会、青の会、横浜シティオペラ各会員。二期会公演『メリー・ウィドウ』ダニロ 役でデビュー。『こうもり』ファルケ、アイゼンシュタイン、『魔笛』パパゲーノ、『ドン・ジョバンニ』タイトルロール、『フィガロの結婚』伯爵、『カルメン』エスカミーリオ、『椿姫』ジェルモン、『トゥーランドット』ビン、『スベードの女王』エレッキ、『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモ、『天主物語』図書之助、『チャールダッシュの女王』フェリパーチ、『学生王子』エンゲル博士等、多くのオペラ、オペレッタの主役を務める一方、『マイ・フェア・レディ』ヒギンス教授、『サウンド・オブ・クラシック』トラップ大佐、『ファンタスティックス』エル・ガヨ等、ミュージカルでも主役を演じ、また2014年に富山で初演出をした『魔笛』は、その斬新なアイデアで好評を博した。また『第九』や『レクイエム』、"ニュー・イヤーズ・コンサート"での一流オーケストラとの共演も多く、音楽の友ホール"日本歌曲コンサート・シリーズ"でのその歌唱力は高く評価されている。現在劇団俳優座講師。



【ロザリンデ】 安田 裕美

愛知県立芸術大学音楽学部声楽科卒業後、同大学大学院音楽研究科声楽領域修了。奏楽堂音楽コンクール入賞及び畑中良輔賞受賞。これまでにオペラ「ヘンゼルとグレーテル」ゲルトルト、バミーナ、侍女2、「ラ・ボエーム」ミミ、「フィガロの結婚」伯爵夫人、「あまんじゃくとうりこひめ」うりこひめ各役等を演じる。魚津市新川文化ホール、名古屋市SMBCホールにてソロリサイタルを開催。これまでに声楽を田中憲子、林安喜子、神田詩朗、森川栄子の各氏に師事。現在、女声合唱団「虹の会」、混声合唱団「あるも」ボイストレーナー。学校法人富山音楽院声楽講師。富山県声楽家協会会員。富山県オペラ協会芸術会員。



【ファルケ】 渡辺 洋輔

呉羽高校音楽コース、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。声楽を黒崎隆憲、長谷川顕、牧野正人、千代崎元昭の各氏に、ピアノを山崎道子、平井丈二郎の両氏に師事。これまでに多数のオペラに出演の他、宗教曲や交響曲のソリストを務める。第26回富山県新人演奏会北日本新聞音楽奨励賞、富山県知事賞受賞。平成29年度富山県芸術文化協会奨励賞受賞。富山県オペラ協会芸術会員。現在、高岡第一学園幼稚園教諭・保育士養成所准教授。



【アデーレ】 渡邊 万貴

富山県出身。国立音楽大学 演奏学科声楽専修 歌曲ソリストコース修了。在学時、学内有志者オペラヘンゼルとグレーテルに出演。学内選抜により第96回ソロ・室内楽定期演奏会、2015年度卒業コンサートに出演。これまでに声楽を佐藤ひさら、串田淑子の各氏に師事。現在東京二期会 オペラ 研修所 マスタークラスに在籍。第28回富山県青少年音楽コンクール 声楽部門にて優秀賞受賞。2018年多摩フレッシュ音楽コンサートに出演。他、東京、富山を中心に多数コンサートに出演。富山県オペラ協会芸術会員。



《アルフレード》 伊東 康孝

武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科卒業。藤田昌克、北村雅彦、田口道子の各氏に師事。これまでオペラ公演のソリストとして「手古奈」「お小夜」「フィガロの結婚」「ジャンニスキッキ」「ラ・ボエーム」「こうもり」等に出演する。また、ベートーヴェン「第九」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」等のテノール・ソロを務めた。2010年5月には北村雅彦氏らと初のジョイントリサイタルを開催し、好評を博した。富山県オペラ協会では、2011年第1回公演「フィガロの結婚」バジリオ及びドン・クルツィオ、2012年第2回公演「ヘンゼルとグレーテル」魔女、2014年第3回公演「魔笛」ではモノスタトス役で出演した。2012年富山県芸術文化協会奨励賞を受賞。富山県オペラ協会副会長、芸術会員。



《プリント》 森清 篤実

国立音楽大学声楽学科卒業。浅岡節夫、浅岡光代、野中匡雄各氏に師事。ベートーヴェン作曲「第九交響曲」、ヘンデル作曲「メサイア」、モーツァルト作曲の「戴冠ミサ」「孤児院ミサ」等のソリストを務める。オペラではモーツァルト作曲「魔笛」のタミーノ、モノスタトス、「コシ・ファン・トゥッテ」のフェランド、ハイdn作曲「月の世界」のチェッコ、ヴェルディ作曲「アイダ」の使者、ヨハン・シュトラウス作曲「こうもり」のアイゼンシュタイン等を務める。平成27年、29年にリサイタルを開催。平成22年富山県芸術文化協会奨励賞受賞。富山県オペラ協合理事、魚津市「ホール・デ・コーラス」、射水市「絵本コロ・アルカディア」指揮者。富山県声楽家協会代表。富山県オペラ協会芸術会員。富山市立八尾中学校教諭。



《アイダ》 森山 久恵

富山県立呉羽高等学校音楽コース卒業。愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。丘声会オペラ「魔笛」夜の女王役でオペラ初出演以後、数々のオペラやコンサートに出演。2005年チョン・ミョンファン指揮、オペラ「カルメン」にオーバード声楽アンサンブルで参加。現在、声楽ユニット「TOYAMAヴォーカル・ソレイユ」メンバーとして活動中。東京ディズニーシーで演奏した他、県内外のイベントやコンサートに出演。小・中学校への訪問演奏や合唱指導もこなしている。富山県声楽家協会会員。



ソプラノ 金川 睦美

武蔵野音楽大学声楽学科卒業。「第九交響曲」「メサイア」コダーイ「テ・デウム」モーツァルト「レクイエム」等のソロを務め、新井日誓、オーケストラアンサンブル金沢、大阪チェンバーオーケストラと共演。オペラでは「手古奈」「奥様女中」「魔笛」「ジャンニスキッキ」「アイダ」「こうもり」「ラ・ボエーム」等に出演。富山テレビやFMとやま主催等でリサイタルを開き、17年に30周年記念リサイタルを成功させた。第35回全国豊かな海づくり大会等の記念式典にも多数出演し、松尾葉子、池辺晋一郎、青島広志、山田和樹、ヴラダーらと共演。第21回奏楽堂日本歌曲コンクール入選。射水市新湊中央文化会館専属アーティスト。富山県オペラ協会芸術会員・理事。



《オルロフスキー》 森川 有紀

富山市出身。富山大学理学部数学科卒業、同大学院修了。二期会オペラ研修所修了。関定子氏に師事。合唱が好きで高校生のときから部活動、大学のサークル、一般の合唱団とずっと続けてきた。県立高校での非常勤講師を経て新川高校で数学教諭となったが、改めて声楽の道を志した。これまでに「第九」「メサイア」ミサ曲等のアルトソロ、オペラ「こうもり」オルロフスキー役、「魔笛」侍女IIIなどで出演。二期会合唱団、東京トロイカ合唱団等でオペラやコンサートに出演。富山県音楽協会会員、富山県声楽家協会会員、富山県オペラ協会芸術会員、二期会会員。東京都在住。



《フランク》 吉森 祐也

国立音楽大学音楽学部声楽科卒業。渡辺多津彦、秋葉京子、黒崎隆憲の各氏に師事。『ドン・ジョバンニ』騎士長でオペラデビュー後、『蝶々夫人』『ラ・ボエーム』『仮面舞踏会』『パリアッチ』『カヴァレリア・ルスティカーナ』など、数多くのオペラに出演。一昨年、富山県オペラ協会公演、オペラ『笠地蔵〜大海日の奇蹟〜』で主役じいさまを演じ、好評を博す。また、藤原歌劇団合唱部として数々のオペラや演奏会に合唱部の一員として参加し、研鑽を積む。そのキャラクターを活かし、幅広いバリトンの役柄を演じる。現在、日本オペラ振興会藤原歌劇団団員、富山県オペラ協会芸術会員。(株)ヤマハミュージックジャパンインストラクター。



《フロッシュ》 谷井 美夫

1966年劇団文芸座入団。理事。入団以来国内外の多数の舞台に出演。チェーホフ作「桜の園」ロバート、「三人姉妹」ヴェルシーニン、「ワーニャ伯父さん」アーストロフ、ブリストリー作「夜の来訪者」や富山市制100周年記念「佐々成政」、グランドミュージカル「12の月たち」、ハンガリー戯曲「ザ・ポートファミリー」などに主要な役柄で出演。1990年第1回アメリカ国際地域演劇祭で上演したイヨネスコ作「授業」の教授役で最優秀演技賞にノミネートされる。1981年、県教育委員会優良芸術文化活動推進者表彰、1995年北日本新聞芸術選奨、2003年県功労表彰、県芸術祭記念功労表彰。



ヴァイオリン(客演) 渋谷 優花

桐朋女子高等学校音楽科、同大学音楽学部及び大学院大学、桐朋オーケストラアカデミー研修課程を修了。富山県新人演奏会にて北日本新聞音楽奨励賞受賞。富山県芸術文化協会奨励賞受賞。別府アルゲリッチ音楽祭に参加。ザルツブルグ・モーツァルトフェスティバル夏季国際アカデミーに参加し、指導教授推薦によるアカデミーコンサートに出演。秋山和慶氏 / 桐朋アカデミーオーケストラ、三ツ橋敬子氏 / 日本センチュリー交響楽団、海老原光氏 / 東京交響楽団とソリストとしての共演や、ソロリサイタルの開催など積極的に演奏活動を行っている。これまでにヴァイオリンを小澤眞琴、上島淳子、久保良治、藤原浜雄の各氏に、室内楽を岩崎洸、野島稔、若林颯、新実徳英の各氏に師事。現在、桐朋学園大学付属「子供のための音楽教室」富山教室ヴァイオリン科非常勤講師。



ソプラノ 平井 香織

国立音楽大学卒業、同大学大学院リート科修了。東京室内歌劇場公演『奥様女中』セルビーナでオペラデビュー。以降『ハムレット』オフェリア、『魔笛』夜の女王、『夕鶴』つう、『カルメル会修道女の対話』ブランシュ等に出演。近年では『ラインの黄金』『ワルキューレ』『神々の黄昏』『エレクトラ』『カルメン』『ピーター・グラ임ズ』『死の都』等、新国立劇場公演に多数出演。その他若杉弘指揮『ダナエの愛』、準メルクル指揮『ヴィーナスとアドニス』、シャルル・デュトワ指揮『エレクトラ』『カルメン』等にソプラノソロとして多くの主要オーケストラと共演、NHK交響楽団の定期演奏会にも出演を重ねる。国立音楽大学講師。二期会会員。富山県オペラ協会芸術会員。



バリトン 栗原 峻希

富山県射水市出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。卒業時に同声会新人賞を受賞。同大学院音楽研究科修士課程声楽オペラ専攻を修了。藝大オペラ第62回定期公演 W.A. モーツァルト作曲オペラ《コシ・ファン・トゥッテ》のグリエルモ役としてデビュー。これまでに、オペラ《フィガロの結婚》アルマヴィーヴァ伯爵、《ドン・ジョバンニ》マゼット、その他《魔笛》や《精姫》などに出演。また奏楽堂シリーズ特別演奏会 能「隅田川」+教会オペラ《カーリョリバー》に出演。G.F.ヘンデル作曲《メサイア》、J.ブラームスの《レクイエム》など宗教曲のソリストや、L.v. ベートーヴェン《交響曲第九番》のソリスト、そして様々なCMでの声の出演など活動の幅を広げている。世界的なソプラノ歌手エヴァ・メイ (Eva Mei) のマスタークラスを受講。また Opera Naples Academyを受講。その際、ソプラノ歌手のヴェロニカ・ヴィラロエル (Verónica Villarroel)、ヴォーカルコーチのメニー・ペレス (Manny Perez)、テノール歌手のブルース・フォード (Bruce Ford) のレッスン、マスタークラスを受講。また、バリトン歌手のシェレル・ミルズ (Sherrill Milnes) のマスタークラスを受講。第27回国際声楽コンクール Kammeroper Schloss Rheinsberg ファイナル出場。第35回ソレイユ音楽コンクール優秀賞。第47回イタリア音楽コンクール ミラノ大賞(第一位)授賞。内山太一、黒崎隆憲、福島明也の各氏に師事。

Chorus

富山県オペラ協会合唱団

代表 護摩堂 謙一

Soprano

ソプラノ

- 雄川 邦代 ★林 美和子
木村 直子 水上 克美
千先 まさ枝 村椿 尚美
田原 佳菜子 本吉 規子
中野 多賀子 吉澤 絵利奈
橋 日奈子
長谷 和美

Alto

アルト

- 石野 雅子
★奥野 知子
重松 秀子
護摩堂 若
高木 悦子
戸田 圭子
西原 深雪

Tenor

テノール

- ★井内 学
石丸 充
大崎 晴夫
護摩堂 謙一
中野 裕
沼田 典明
吉澤 良祐

Bass

バス

- ★上田 慎一
紺屋 範雄
浜田 勝宏
久田 潤
谷口 高憲(助演)
★: パートリーダー



Ballet  
バレエ

可西舞踊研究所



代表 可西 晴香

1948年研究所を開設。全国舞踊コンクール1位入賞多数。文化庁芸術祭賞、富山県功労者表彰受賞。現代舞踊フェスティバル最優秀賞、財団法人松山バレエ団芸術賞、北日本新聞社文化賞を受賞。プラハフェスティバルダンスプライズ2003の国際ダンスコンクールにてグランプリ受賞。モナコ世界演劇祭、ドイツ・リンゲン世界こども演劇祭参加他、チェコ、ハンガリー、アメリカ、ベルギー等多数の海外公演を行う。2018年代表可西晴香は第75回全国舞踊コンクール特別賞「石井 漢・はるみ指導者大賞」を受賞。



片岸 香里



古井 晴香



横田 かの華



日下 萌



桂井 優依



日下 葵



Ballet  
バレエ

和田朝子舞踊研究所



代表 和田 朝子

1968年創設。北日本新聞社文化賞・財団法人松山バレエ団芸術賞・チャコット賞・現代舞踊フェスティバル優秀賞、また全国舞踊コンクール等で受賞多数。世界を舞台に芸術性あふれる意欲的な活動を展開。宝塚歌劇団、劇団四季、Noism、バレエ団、お茶の水女子大学、筑波大学など舞台芸術界や舞踊教育界に優れた人材を送り出している。



長谷部 桃子



古城 愛子



小関 こころ



松井 朝日



松井 未来



石崎 慶



中瀬 愛菜



藤岡 彩



内橋 来琉未



能浦 妃花



福島 小雪

Johann Strauss II  
DIE FLEDERMAUS



Orchestra

富山シティーフィルハーモニー管弦楽団



1st Violin

稲垣 祐香  
塩田 博美  
田中 緑  
辻 久直  
仲井 美賀  
名執 純子  
又場 龍大  
宮本 範子

2nd Violin

河原 毅  
塩崎 章子  
田村 瑠子  
沼田 典子  
原 朝子  
松下 亮  
吉澤 歩希  
吉澤 真弓

Viola

上田 香奈恵  
大森 祐子  
河原 千佳子  
久保 悠希乃  
竹内 慧  
藤井 優哉  
室 志桜里

Cello

館野 祥子  
年代 拓夢  
能村 典未  
堀田 五月

Contrabass

大西 遼  
金森 大樹  
吉澤 克仁

Harp

上田 智子

Flute

伊藤 ひでみ  
摺出寺 敬子

Oboe

北岡 明  
北岡 佳苗

Clarinet

大西 梨  
佐々木 桂治

Fagotto

篠崎 秀一  
永原 千春

Horn

宅美 俊史  
野崎 美保  
花房 奈央子  
南 佳那

Trumpet

荒野 晃代  
古井 清紀

Trombone

大田 昭男  
長倉 久喜  
福井 夢佳

Percussion

高本 篤志  
長嶋 千尋  
野替 亜紀子  
花房 清直